

質疑応答書（令和8年5月8日）

業務名	神居古潭 魔神伝説AR整備事業
質疑事項	回答事項
ARに着目されたきっかけや背景は？	<p>神居古潭は、アイヌ文化の魔神伝説、独特の地質・自然景観など、多層的な魅力を有している一方で、関連スポットが離れていることや河川敷地内にあり現物が見学しにくい、現物を見てもその背景や物語が伝わりにくいという課題があります。</p> <p>そのため、現地空間と物語・体験を結びつけることができるAR技術を活用することで、来訪者の理解促進や魔神伝説への没入感・周遊性の向上につながることを期待しています。</p> <p>また、若年者やインバウンドを含めた幅広い層に対し、文化的価値を分かりやすく伝える手法としてもARは有効であると考えています。</p>
KPIなど、何を本事業の成果指標と考えているか？	<p>主な成果指標としては、「ARコンテンツ利用者数」及び「来訪者の満足度」のほか、以下のような項目が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地周遊地点の回遊率 ・滞在時間 ・SNS等での発信件数 <p>なお、定量指標のみではなく、「現地体験の質」や「アイヌ文化・地域への理解・興味関心の向上」も重視したいと考えています。</p>
日常で訪れている方の数と客層は？	<p>季節や曜日による変動はありますが、札幌と旭川間をつなぐ国道12号沿いにあり、観光客のほか、地元住民による散策・ドライブ利用も一定数あります。交通量調査から国道12号の付近の交通量は2万台／日程度と推測されます。</p> <p>精緻な調査を行っておらず、詳細は不明ですが、昨年5月1日～10月31日まで、同地にある東屋及び神居古潭駅舎に来訪者用のアンケート用紙を配置したところ、849件（1,093名分）の回答がありました。</p> <p>回答の概要は以下のとおりです。</p> <p>（各項目TOP3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■居住地 <ul style="list-style-type: none"> 北海道:35.3%、東京都:10.2%、神奈川県:7.2% ■年代 <ul style="list-style-type: none"> 20代:20.4%、50代:17.4%、40代:15.3%

<p>想定する利用者像は？</p>	<p>上記アンケート結果から、主な利用者像として、以下を想定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20代若年層（カップル／友人グループ） ・50代アクティブ中高年（夫婦／ツアー） ・40代ファミリー層 <p>文化施策であることを踏まえ、アイヌ文化を正しく伝えることを前提としつつ、旭川市を初めて訪れる観光客、SNS等で体験を共有する旅行者、自然景観を目的とした来訪者、外国人観光客など専門知識がなくても楽しめるエンターテインメント性との両立を期待しています。</p>
<p>多言語対応についてはどこまで必須か？</p>	<p>日本語対応は必須と考えています。</p> <p>加えて、外国人観光客への対応を踏まえ、英語のほか、上記アンケートで台湾在住の方の回答が3.5%あったことから、中国語（繁体字）対応についても可能な限り実装されることが望ましいと考えています。</p> <p>その他言語については、提案内容や運用面、予算とのバランスを踏まえて協議したいと考えています。</p>
<p>各地点は電動モビリティを使って回るという理解で良いか？その機種は？</p>	<p>神居古潭大橋の付近に設置予定の仮設ユニットハウス（神居古潭ビジターセンター KAMUY GATE（仮称））においてスタッフにより特定小型電動機自転車のglafit（NFR-01Pro）を貸出し、スポットを回っていただくことを想定しています。また、e-bikeの貸出も検討しております。その他、徒歩や車で回る方も一定数いらっしゃる可能性はあります。</p>
<p>ARを補完する資料などは用いて良いのか？（紙のマップなど）</p>	<p>可能です。</p> <p>AR体験を補完し、周遊性や理解促進を高める手法として、WEBページや紙媒体等を組み合わせる御提案も歓迎します。</p>
<p>広報・PR活動の予定はあるか</p>	<p>市としても、事業実施に合わせた情報発信を行ってまいります。</p> <p>具体的には、市広報誌やホームページ、SNS等を活用した周知を想定していますが、効果的なPR手法については受託事業者様からの御提案も期待しています。</p>
<p>キャラクターのテイストについてどういうイメージなどあるか？</p>	<p>アイヌ文化の尊重を念頭に置きつつ、市内アイヌ団体の方と十分にすり合わせを行い、イメージが乖離しないようにしていただきたいと考えております。その上で、20代若年層（カップル／友人グループ）、50代アクティブ中高年（夫婦／ツアー）、40代ファミリー層のような利用者像を想定しながら、幅広い年代に親しみやすく、観光コンテンツとして訴求力のある表現となることを期待しています。</p>

	<p>郊外に位置しており、都市部のような通信環境が整っていない神居古潭において、円滑に支障なくARコンテンツが表示される必要があるため、使用するデータ量に留意しながら作成いただきたいと考えております。</p>
<p>契約保証金の納付方法（現金、または有価証券、銀行保証など）、納付期日、返還日</p>	<p>契約保証金については、契約締結までに、旭川市の定める納付書等により金融機関の窓口にて納付していただく予定です。（道外からの御支払の場合、利用可能な窓口は郵便局のみとなります。）旭川市契約事務取扱規則に基づき、要件を満たす場合には契約保証金の免除が認められる場合もありますので、契約保証金の要否や納付方法の詳細については、受託候補者特定後に別途案内します。</p> <p>返還時期については、全ての業務が完了し、契約内容が適正に履行されたことを確認した後、所定の手続きを経て返還する予定です。</p>